

福島第一原子力発電所の廃炉の現状と取組みをお伝えします Vol.30 【ALPS処理水に関する情報発信②】

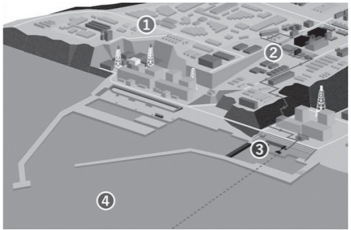
福島第一原子力発電所の放射性物質によるリスクを継続的に低減する「廃炉・汚染水・処理水対策」の取組みについてお知らせします。「復興と廃炉の両立」に向けて、廃炉を安全かつ着実に進めてまいります。

東京電力ホームページ内の「[処理水ポータルサイト](#)」では、ALPS処理水の海洋放出に関する様々なデータを発信しています。今回は、海洋放出前のALPS処理水を測定・評価する「[測定・確認用設備](#)」の状況について、ご覧いただける情報をお知らせします。

▼よくいただくご質問

処理水ポータルサイト
(スマートフォン版 画面イメージ)

ALPS処理水 海洋放出の状況



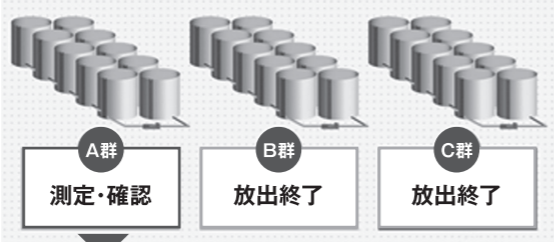
① ALPS処理水等の状況
詳しくはこちら

② 測定・確認用設備の状況
詳しくはこちら

④ 海域モニタリングの結果

測定・確認用設備の状況

タンク10基(合計容量約10,000m³)×3群をローテーションしながら運用しています。



A群 測定・確認
B群 放出終了
C群 放出終了

ALPS処理水の測定結果(2023年10月19日)
⇒放出基準を満足していることを確認しています

※1.Bq(ベクレル)は、放射性物質がどのくらい放射線を出す能力があるかを表す単位 ※2.各核種の濃度の法令上の限度に対する比を求め、それを合計したもの

トリチウム濃度 **13万Bq/L** ベクレル ※1 リットル
100万Bq/L未満であることを確認しました。

トリチウム以外の放射性物質の濃度
告示濃度比総和 **0.25** < 規制基準 1

当社委託外部機関(化研)の測定結果
▶トリチウム濃度: **13万Bq/L**
▶トリチウム以外の放射性物質の告示濃度比総和: **0.31**

Q. 希釈前のALPS処理水のトリチウム濃度は?

Q. トリチウム以外の放射性物質の濃度は、国の規制基準を満たしているの?

Q. 東京電力以外の機関は、測定・確認しているの?

「測定・確認用設備」では、①当社、②当社が委託する外部機関、③政府の基本方針に基づく第三者(日本原子力研究開発機構)が、それぞれALPS処理水を放出前に分析し、国の規制基準を満たしているかを確認しています。また、その結果を公開しています。



ALPS処理水に関する情報はこちらをご覧ください
▶[[処理水ポータルサイト](#)]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/>



測定・確認用設備に関する情報はこちらをご覧ください
▶[[測定・確認用設備の状況](#)]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/measurementfacility/>



福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水・処理水対策
▶[[皆さまのご意見をお聞かせください](#)]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/voice.html>

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22